2022年1月1日現在

登録番号　第　22469　号

サムコル®フロアブル10

特長：	●シンクイムシ類やハマキムシ類などのチョウ目害虫に優れた効果のある果樹・茶用殺虫剤です。 ●適用作物・天敵・訪花昆虫への安全性も兼ね備えています。 ●直接的な殺虫効果だけでなく、害虫の配偶行動を阻害して、次世代の産卵数を減らし、圃場内の害虫密度を低減する効果も確認されています。

サムコルはFMC Corporationまたはその米国およびその他の国の子会社・関連会社の登録商標です

有効成分	クロラントラニリプロール・・・10.0%	包装	200ml×10×4 500ml×20
性状	淡褐色水和性粘稠懸濁液体	有効年限	4年
毒性	普通物※	危険物	−

※普通物：「毒物及び劇物取締法」（厚生労働省）に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

【適用害虫及び使用方法】　　2021年7月7日付内容

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロラントラニリプロールを含む農薬の総使用回数
りんご	ｼﾝｸｲﾑｼ類 ﾊﾏｷﾑｼ類 ｹﾑｼ類 ｷﾝﾓﾝﾎｿｶﾞ ｷﾞﾝﾓﾝﾊﾓｸﾞﾘｶﾞ ﾋﾒﾎﾞｸﾄｳ ﾖﾓｷﾞｴﾀﾞｼｬｸ ｵｵﾀﾊﾞｺｶﾞ	2500～5000倍	200～700 L/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	3回以内
なし	ｹﾑｼ類 ｼﾝｸｲﾑｼ類 ﾊﾏｷﾑｼ類 ﾋﾒﾎﾞｸﾄｳ	2500～5000倍	200～700 L/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	3回以内
かき	ﾊﾏｷﾑｼ類 ｹﾑｼ類 ﾋﾛﾍﾘｱｵｲﾗｶﾞ ｶｷﾉﾍﾀﾑｼｶﾞ ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ ﾌﾀﾓﾝﾏﾀﾞﾗﾒｲｶﾞ	5000倍	200～700 L/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	3回以内
ぶどう	ﾊﾏｷﾑｼ類 ｹﾑｼ類 ﾓﾝｷｸﾛﾉﾒｲｶﾞ ｸﾋﾞｱｶｽｶｼﾊﾞ	5000倍	200～700 L/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	3回以内
おうとう	ｺｽｶｼﾊﾞ ﾊﾏｷﾑｼ類 ｹﾑｼ類	2500～5000倍	200～700 L/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	3回以内
	ｵｳﾄｳｼｮｳｼﾞｮｳﾊﾞｴ	2500倍					

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロラントラニリプロールを含む農薬の総使用回数
うめ	ｹﾑｼ類 ﾉｺﾒﾄｶﾞﾘｷﾘｶﾞ ｺｽｶｼﾊﾞ	2500～5000 倍	200～700 L/10a	収穫 14 日前まで	3 回以内	散布	3 回以内
	ﾊﾏｷﾑｼ類	2500 倍					
すもも	ｼﾝｸｲﾑｼ類	2500 倍	200～700 L/10a	収穫 3 日前まで	3 回以内	散布	3 回以内
	ｹﾑｼ類 ﾊﾏｷﾑｼ類	2500～5000 倍					
あんず	ｹﾑｼ類 ﾊﾏｷﾑｼ類	2500 倍	200～700 L/10a	収穫 3 日前まで	3 回以内	散布	3 回以内
ふさすぐり	ｽｸﾞﾘｺｽｶｼﾊﾞ	2500 倍	200～700 L/10a	収穫前日まで	2 回以内	散布	2 回以内
もも	ｼﾝｸｲﾑｼ類 ﾊﾏｷﾑｼ類 ﾓﾓﾊﾓｸﾞﾘｶﾞ ｺｽｶｼﾊﾞ	5000 倍	200～700 L/10a	収穫前日まで	2 回以内	散布	2 回以内
ﾈｸﾀﾘﾝ	ｼﾝｸｲﾑｼ類 ﾊﾏｷﾑｼ類 ﾓﾓﾊﾓｸﾞﾘｶﾞ ｺｽｶｼﾊﾞ	5000 倍	200～700 L/10a	収穫 3 日前まで	2 回以内	散布	2 回以内
さとうきび	ｲﾈﾖﾄｳ ﾂﾏｼﾞﾛｸｻﾖﾄｳ	5000 倍	100～300 L/10a	収穫 30 日前まで	3 回以内	散布	4 回以内 (粒剤は 1 回以内、水和剤は 3 回以内)
		50 倍	2.4 L/10a			無人航空機による散布	
茶	ﾁｬﾉｺｶｸﾓﾝﾊﾏｷ ﾁｬﾊﾏｷ ﾖﾓｷﾞｴﾀﾞｼｬｸ	2000 倍	200～400 L/10a	摘採 3 日前まで	1 回	散布	1 回
	ﾁｬﾉﾎｿｶﾞ ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ	2000～4000 倍					

使用上の注意事項

(1) 使用前によく振ってから使用すること。
(2) 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
(3) 散布液調製後はできるだけ速やかに散布すること。
(4) 使用液量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び使用方法に合わせて調節すること
(5) 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は次の注意事項を守ること。
  1) 散布は散布機種の散布基準に従って実施すること。
  2) 散布に当っては散布機種に適合した散布装置を使用すること。
  3) 散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行うこと。
(6) 過度の連用をさけ、可能な限り作用性の異なる薬剤やその他の防除手段を組み合わせて使用すること。
(7) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
(8) 空容器は圃場などに放置せず、３回以上水洗し、環境に影響のないよう適切に処理すること。洗浄水はタンクに入れること。

⑼ 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

人畜に有毒な農薬については、その旨及び解毒方法

⑴ 誤飲などのないように注意すること。
⑵ 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗すること。
⑶ 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
⑷ 散布の際は手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して薬剤が皮膚に付着しないよう注意すること。

水産動植物に有毒な農薬については、その旨

⑴ 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
⑵ 無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意すること。
⑶ 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

引火し、爆発し、又は皮膚を害する等の危険のある農薬については、その旨

通常の使用方法ではその該当がない。

貯蔵上の注意事項

直射日光をさけ、なるべく低温な場所に密栓して保管すること。